

令和2年度

ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業

子どもたちの豊かな心を育むため平成14年度より実施している本事業は18年目を迎えました。今年度は「この思い、未来（あす）へとつながれ 十七字」のキャッチフレーズの下、「絆部門」「復興部門」の二部門で作品を募集しました。コロナ禍の影響で夏季休業が減少される中、県中域内では、8,282組の方々から御応募いただきました。御協力をいただきました市町村及び市町村教育委員会、幼・保、こども園、小・中・義務教育学校、県立各学校、公民館、そして審査に御協力いただきました福島県公立学校退職校長会の皆様に改めて感謝申し上げます。

さて、9月29日に行われた県中域内第一次審査では、福島県公立学校退職校長会県中域内各支部より25名の皆様に審査員としておいいただきました。厳正な審査の結果、8,282組より418組の優良作品を選考し、県の第二次審査へ送ることができました。県の第二次審査を経て、県中域内からは17組の優秀な作品が最終審査へと選出されました。10月26日の最終審査の結果、県中域内から最優秀賞に2組（復興2組）、優秀賞に2組（絆2組）、佳作に1組（絆1組）の計5組が入賞を果たしました。

寄せられた作品には、家族や身近な人たちとのふれあいや共有体験を通じた思いや気持ち、復興への願いなどが五、七、五の十七文字にこめられていました。また、出品者からは「親と子のつながりのためにも、とても良い事業だと思います。」「親子で考えてつくることを毎年楽しみにしています。これからも続けてほしいです。」など、温かく貴重な御意見・御感想を多数お寄せいただきました。

県中教育事務所では、入賞作品や第一次審査通過作品を多くの方々に見ていただきたく、作品集を発刊することにしました。この作品集を御覧いただき、子どもたちの瑞々しい感性や子どもたちを見守る身近な人々の思いや願い、家庭や地域の絆を感じ取ってもらえることを願っております。

令和3年1月

福島県教育庁県中教育事務所長 石幡 良子

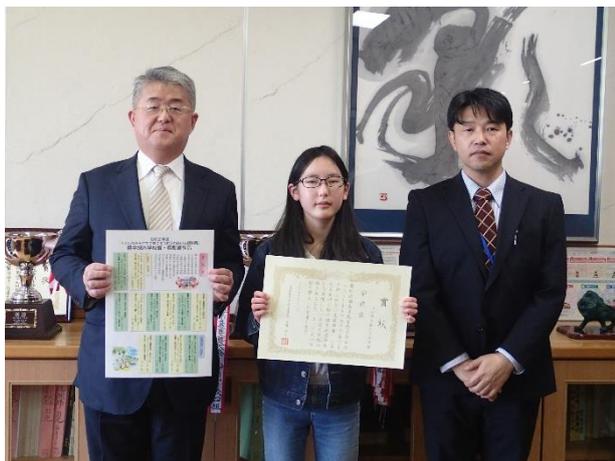
県中域内表彰伝達式



郡山市立金透小学校（学校賞）



天栄村立牧本小学校（学校賞）



田村市立船引小学校（学校賞）



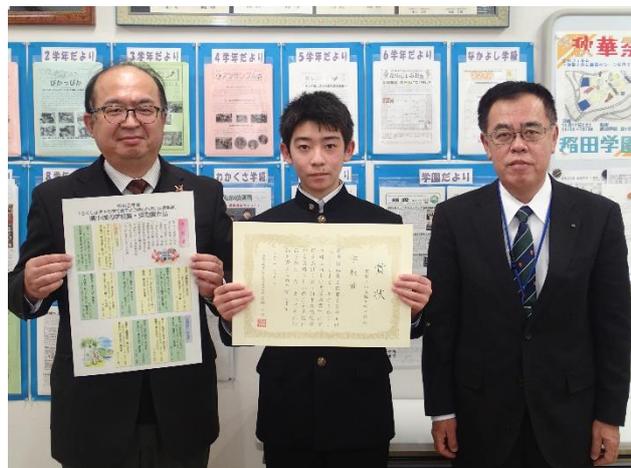
三春町立三春小学校（学校賞）



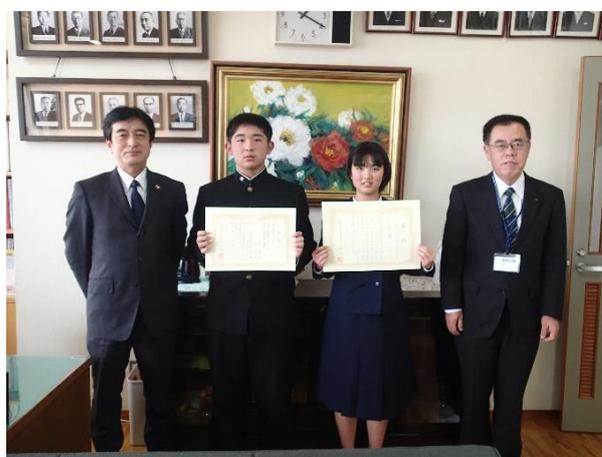
三春町立沢石小学校（学校賞）



小野町立小野小学校（学校賞）



須賀川市立稲田中学校（学校賞）



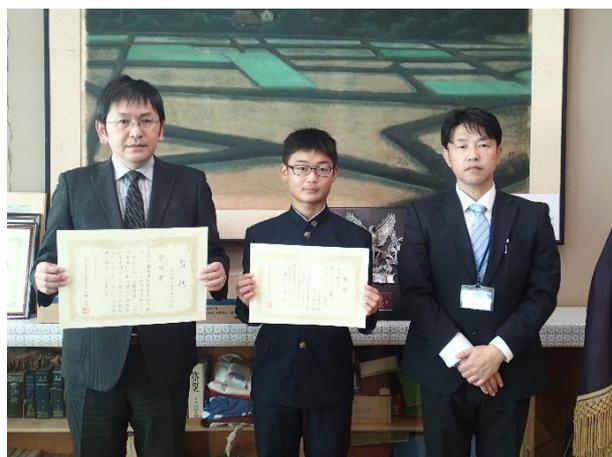
須賀川市立仁井田中学校（学校賞）



須賀川市立岩瀬中学校（学校賞）



平田村立ひらた清風中学校（学校賞）



浅川町立浅川中学校（学校賞）



玉川村たまかわクックの森（学校賞）

県の表彰式は令和2年12月14日（土）にホテル福島グリーンパレスにて行われました。県中地区からは最優秀賞2組（復興部門）優秀賞2組（絆部門）が表彰されました。県の表彰式の様子は、福島県教育委員会ホームページに紹介されていますので、こちらからご覧ください。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/365113.pdf>